


分野	51	環境共生
施策	511	西山の整備
5年後の目標		市民・企業などの協働によって西山が整備され、市域の森林の3分の1以上が健全な状態で維持管理されている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	西山における森林保全活動の推進・啓発事業		会計	款	項	目	1,500,000	農林振興課
			一般	6	2	1		
事業の概要								
改定した西山森林整備構想に基づき、具体的な森林整備方針を定め、産官学民連携の組織である西山森林整備推進協議会と連携して、ボランティア運動と森林保全活動の推進と啓発を促進します。								


平成28年度の取組							
D (取組)	指標	森林ボランティア団体数				単位	団体
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
		目標	22	22	23	23	24
	21(平成26年度)	実績	22				
<p>・平成27年度に改定した「西山森林整備構想」に基づき、西山森林整備推進協議会と連携して、自然環境調査や環境教育事業、イベントでの展示を実施し、西山の森林保全活動に関する啓発を行いました。</p> <p>・竹林や森林整備のボランティア活動に関心がある人を対象に、実際の活動に触れる機会としてボランティア養成講座を開催し、活動に入りやすい関係づくりのための調整を行いました。</p>					<p>森林ボランティア養成講座</p> 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成28年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた。(目標の100%以上)	達成状況	・森林ボランティア養成講座を実施し、森林整備に関わってもらえる機会を提供するとともに、既存のボランティア団体と連携して継続して活動してもらうための支援を行うことで、新しく1団体が竹林整備のボランティア団体として活動を開始されました。	—
	課題等	・ボランティア団体において、会員の高齢化と後継者不足が課題となっている。			—

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	<p>1: 計画通りに進めることが適当</p> <p>・西山森林整備推進協議会の組織が成熟し、産官学民が連携して森林整備に関する啓発事業は目標通りに進行しています。今後も引き続き、啓発事業を通じて新規加入を呼びかけるとともに、市内及び周辺地域に事業所を構える企業に、西山でのモデルフォレスト活動への参画を呼び掛けます。</p>

分野	51	環境共生
施策	511	西山の整備
5年後の目標		市民・企業などの協働によって西山が整備され、市域の森林の3分の1以上が健全な状態で維持管理されている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	西山における森林整備推進事業		会計	款	項	目	12,528,832	農林振興課
			一般	6	2	1		
事業の概要								
西山の森林機能を維持・回復させるとともに、生物の多様性を保持するため、西山森林整備構想を基本として環境面や公益的観点に配慮した整備を継続的かつ適正に実施します。								


平成28年度の取組								
D (取組)	指標	西山森林整備面積(累計)					単位	ha
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32	
		目標	280.0	288.0	296.0	304.0	312.0	
	261.68(平成26年度)	実績	282.0					
<ul style="list-style-type: none"> ・長岡京市森林組合に業務委託を行い、森林整備を合計8.24ha実施しました。 ・人工林については、2.35haの間伐、0.20haの除伐を実施し、併せて間伐した材を活用するため99mの施業路を開設しました。二次林については、3.32haの改良、0.44haの除伐を行いました。竹林については、拡大する竹林をライン状に伐採し最前線を押戻す線の整備を1.93ha行うとともに、線の整備の実施地について新たに発生したタケノコ等を伐採する維持管理を4.04ha行いました。また、森林病害虫等による枯死した危険木の伐倒処理を69.51㎡実施しました。 						拡大竹林線の整備 整備区域 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成28年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド		対応頁
		西山の森林整備面積・整備率	放置竹林の拡大防止を重点項目として、拡大竹林の線の整備を新規事業として取り組んでおります。		209
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた。(目標の100%以上)	達成状況	・平成27年4月に改定された「西山森林整備構想」と併せて作成されたゾーニング資料に基づき、西山森林整備推進協議会に整備方針を提案し承認を得た上で、環境林整備事業補助金や森林環境税などの財源を活用し、森林整備を進めた結果、目標を達成することができました。	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい里山林にするために、西山に相応しい森林整備方法を確立する必要があります。 ・森林の水源涵養機能の低下や土砂災害の危険性が増すため、拡大竹林の整備を引き続き行う必要があります。 ・間伐材の搬出を考慮した作業道や施業路の整備が必要です。 				

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1: 計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> ・過去に実施した森林整備地の検証を行うとともに、西山森林整備構想を指針として西山に相応しい森林整備方法を確立し、それにより持続的な森林整備を実施します。 ・ふるさと納税など様々な財源を活用することで森林整備費の確保を目指します。 ・森林所有者の合意に基づき作業道・施業路の整備を行うことで、材の搬出と利用を推進します。

分野	51	環境共生
施策	511	西山の整備
5年後の目標		市民・企業などの協働によって西山が整備され、市域の森林の3分の1以上が健全な状態で維持管理されている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	木竹資源の利活用事業		会計	款	項	目	—	農林振興課
			—	—	—	—		
事業の概要								
市内で伐採された木材を公共建築物や内装材、調度品、薪などへ多種多様な利用を図るとともに、竹林整備により発生した竹材を竹粉や竹チップとして有効利用を進め、資源循環利用の仕組みづくりを推進します。								

平成28年度の取組							
D (取組)	指標	竹粉・竹チップの活用量(累計)				単位	m ³
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	平成27年度新規事業	目標	36.0	52.0	68.0	84.0	100.0
		実績	64.3				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設を管理する関係部署に、防草剤としての竹チップ活用の働きかけを行った結果、累計64.3m³の竹チップを導入することができました。 ・ 平成27年度実績：産業文化会館20m³、西山公園2m³ ・ 平成28年度実績：西代里山公園20m³、第二浄水場19.8m³、西山公園2.5m³ ・ また、木材の利用実績として、平成28年度は、西代里山公園の管理棟内装材や開園記念品のコースター、山の日制定記念行事でのDIY原材料、室名札8枚、公共施設等に設置するベンチ12基分の木材利用を図りました。 						竹チップ敷設箇所(西山公園花壇)	
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成28年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド		対応頁
		—	—	—	
C (評価)	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた。(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年度に補助金を受けて、竹チップパーを導入した京都中央農業協同組合と連携し、伐採竹のチップ化を推進するとともに、公共施設を管理する関係部署へ防草剤として竹チップ導入の働きかけを行い結果、目標を達成することができました。 	
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敷設してから3年目以降など、長期的に防草効果を持続させる手法について検証する必要があります。 ・ 竹チップや竹粉の他に、竹材を新たな資源としての利活用方法を開拓する必要があります。 			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1: 計画通りに進めることが適当
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 竹チップを敷設した公共施設について継続して経過観察を行い、防草効果の状況を検証します。 ・ これまでの実績を足掛かりとし、敷設の可能性がある公共施設等に防草効果のPRを行い、さらなる普及・啓発に取り組んでいきます。